

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2009年度 後期分）

2010年7月

実践女子短期大学自己評価委員会

2009 年度後期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員長 西脇智子

2009 年度後期の『教員アンケート報告書』が完成しましたのでお届けします。

今回のアンケートに対して 54 通の回答が寄せられました。多くのご協力をいただいたことに深く感謝いたします。

回答の中身を見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「だいたい納得できた」とする回答が 57.4%と最も多く、これに「十分納得できた」という回答を合わせると 90.7%(2007 年度後期は 94.6%、2008 年度前期は 96.6%、2008 年度後期は、98.2%、2009 年度前期は、95.8%)となり、学生の評価を肯定的に受け止めているという回答が 9 割台の数値を保っています。しかし、前年度後期に比してみますと、これまでのアンケート結果と同様に学生の評価結果に対して肯定的に受け止められている一方で、「学生の評価にあまり納得できなかった人」の数値が与える影響も読み取れました。

自由記述に関しては前年度後期からまとめ方をやや変えて、「特になし」のようなものは無回答と同じ扱いとし、項目毎に何名から回答があったのかを数字で明記することになりました。読みやすさを考え、また回答者や科目の特定をさけるため、一部で字句や表現の修正等を行っているのは、これまでと同様です。

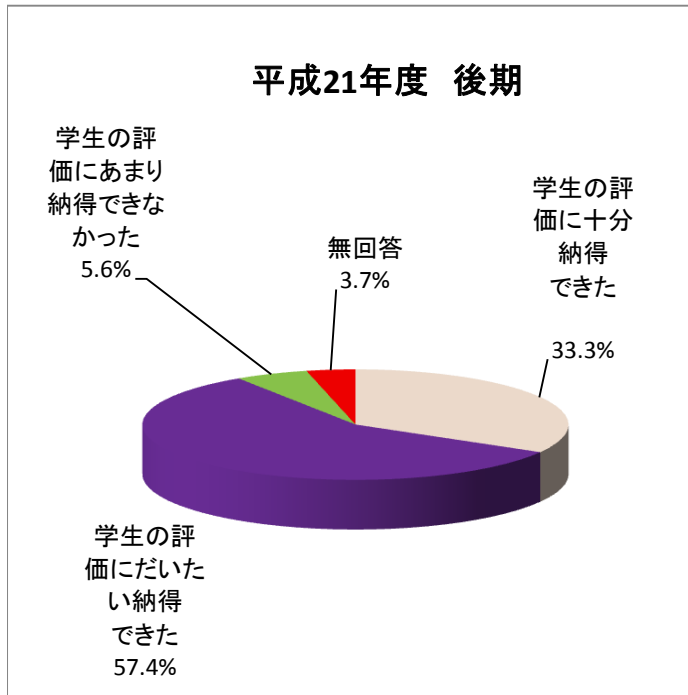
今回も、設問 5 の「学科や短大への要望」は少なからず頂戴しています。これまでも特に教室の設備など教育環境に関するものは、アンケートの実施を待つことなく各学科・課程の研究室や講師控室にご連絡をいただければとの提案をしてきましたが、さらに「フィードバックできるものは、した方がよいのではないか」という意見がでました。そこで、事務部の意見を一覧表にまとめてもらい、報告書の最後に掲載することとなりました。意見交換の試みとしてご参考になれば幸いです。

最後になりましたが、この『報告書』が活用され、各授業の改善と向上に資することを心より願っております。

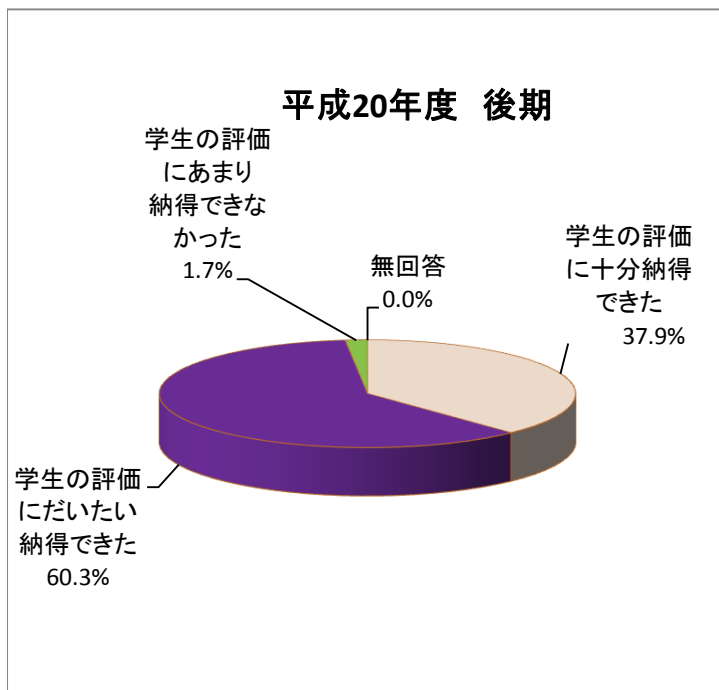
I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成21年度後期と平成20年度後期の比較 —

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)



選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	18	33.3%
学生の評価にだいたい納得できた	31	57.4%
学生の評価にあまり納得できなかった	3	5.6%
無回答	2	3.7%
合計	54	100.0%

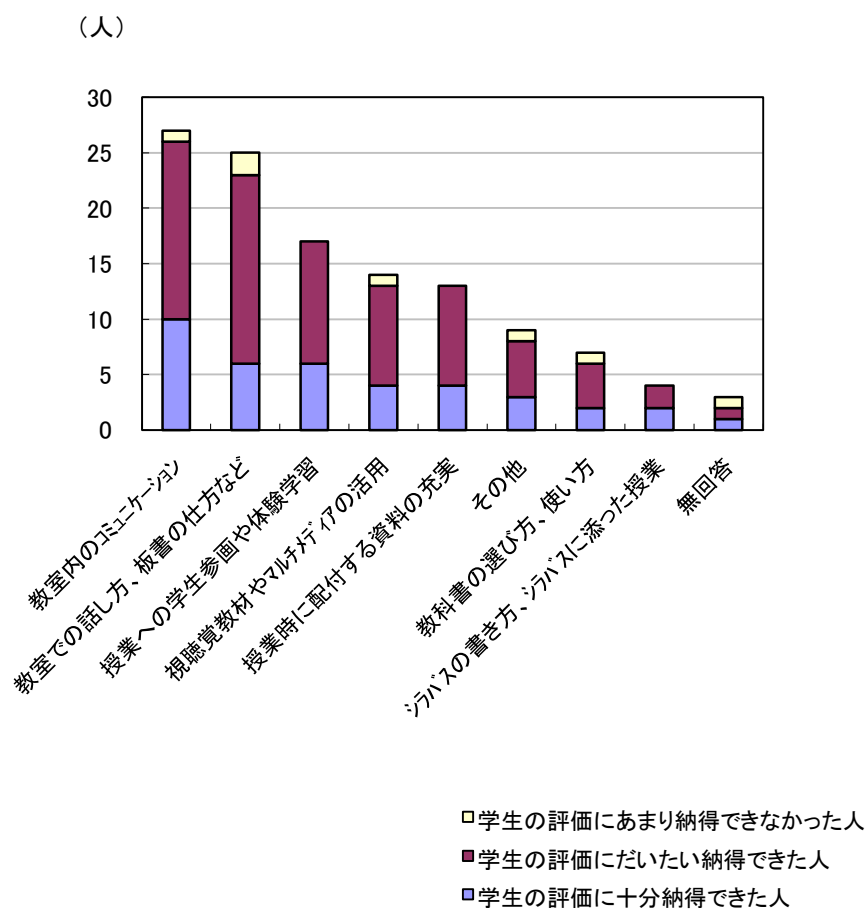


選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	22	37.9%
学生の評価にだいたい納得できた	35	60.3%
学生の評価にあまり納得できなかった	1	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	58	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

設問3. 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

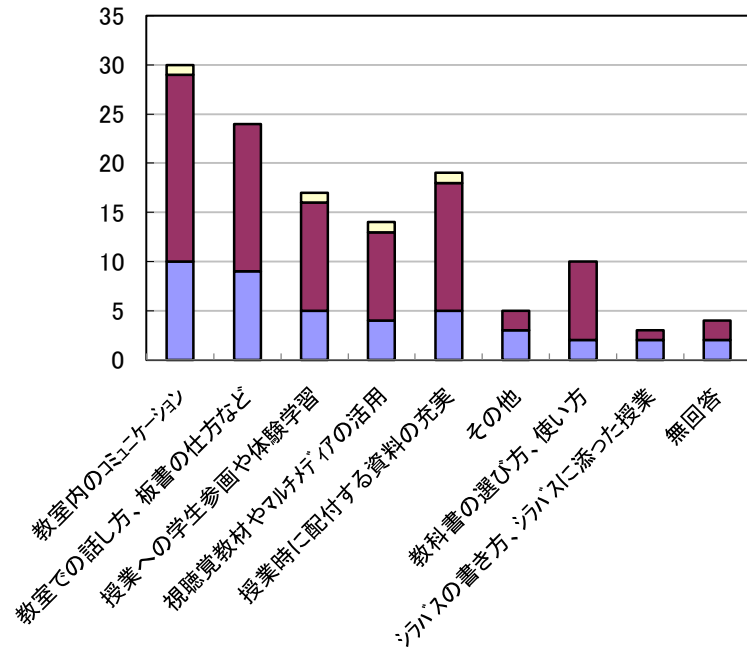
平成21年度 後期



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	10	16	1	27
教室での話し方、板書の仕方など	6	17	2	25
授業への学生参画や体験学習	6	11	0	17
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	9	1	14
授業時に配付する資料の充実	4	9	0	13
その他	3	5	1	9
教科書の選び方、使い方	2	4	1	7
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	2	0	4
無回答	1	1	1	3

平成20年度 後期

(人)

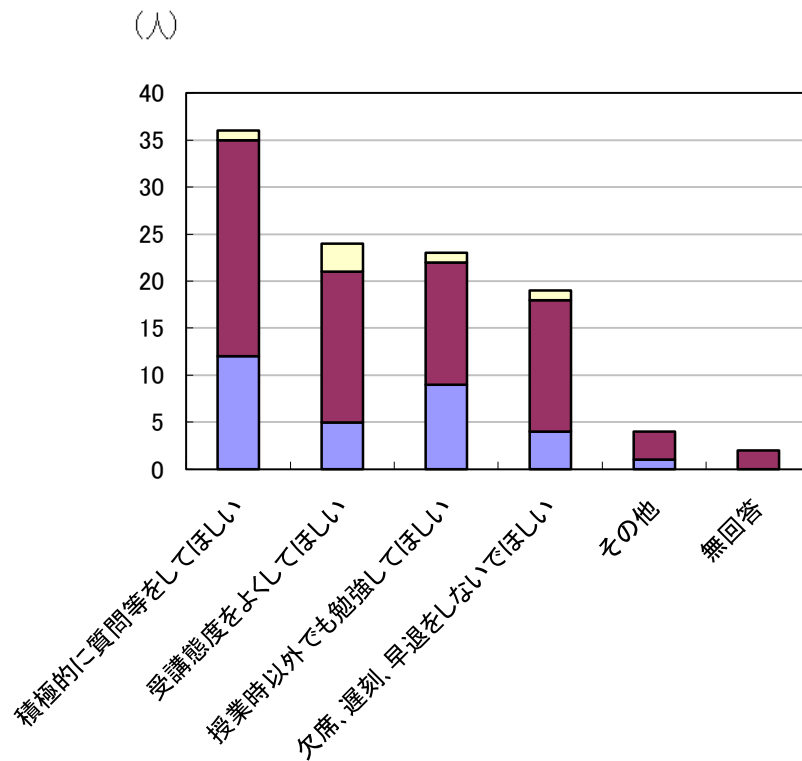


- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	10	19	1	30
教室での話し方、板書の仕方など	9	15	0	24
授業への学生参画や体験学習	5	11	1	17
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	9	1	14
授業時に配付する資料の充実	5	13	1	19
その他	3	2	0	5
教科書の選び方、使い方	2	8	0	10
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	1	0	3
無回答	2	2	0	4

設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

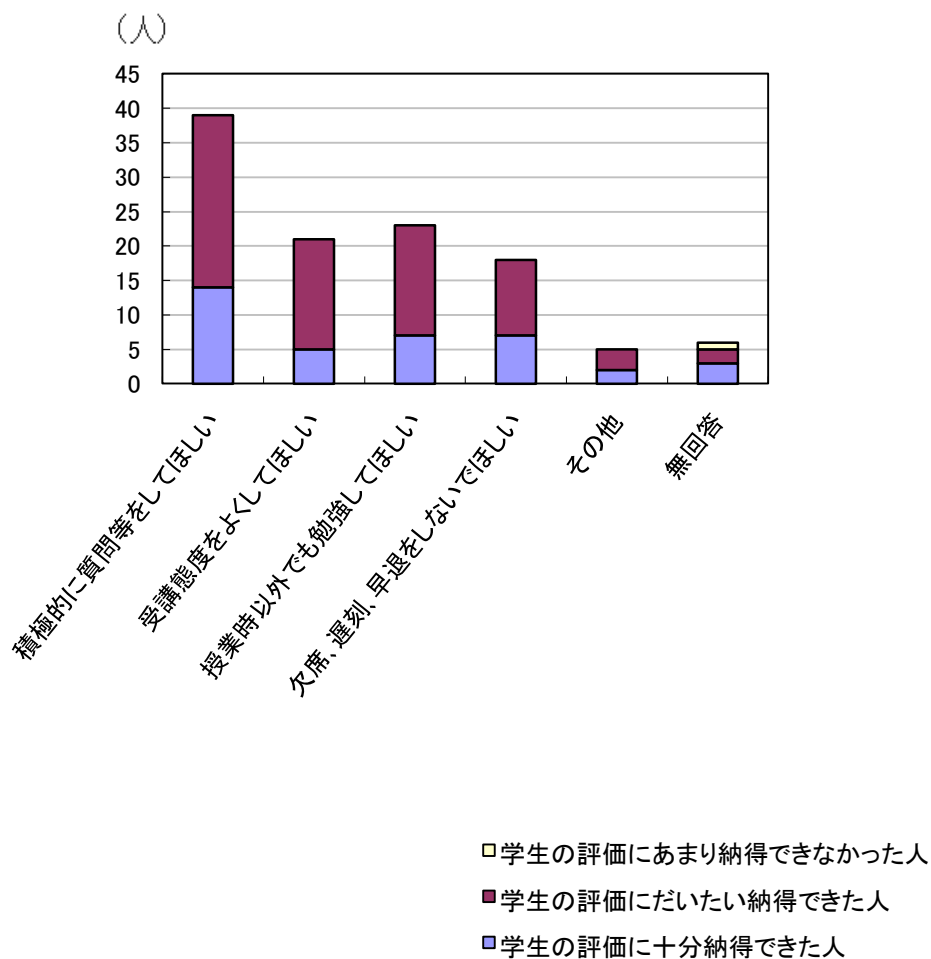
平成21年度 後期



- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	12	23	1	36
受講態度をよくしてほしい	5	16	3	24
授業時以外でも勉強してほしい	9	13	1	23
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	4	14	1	19
その他	1	3	0	4
無回答	0	2	0	2

平成20年度 後期

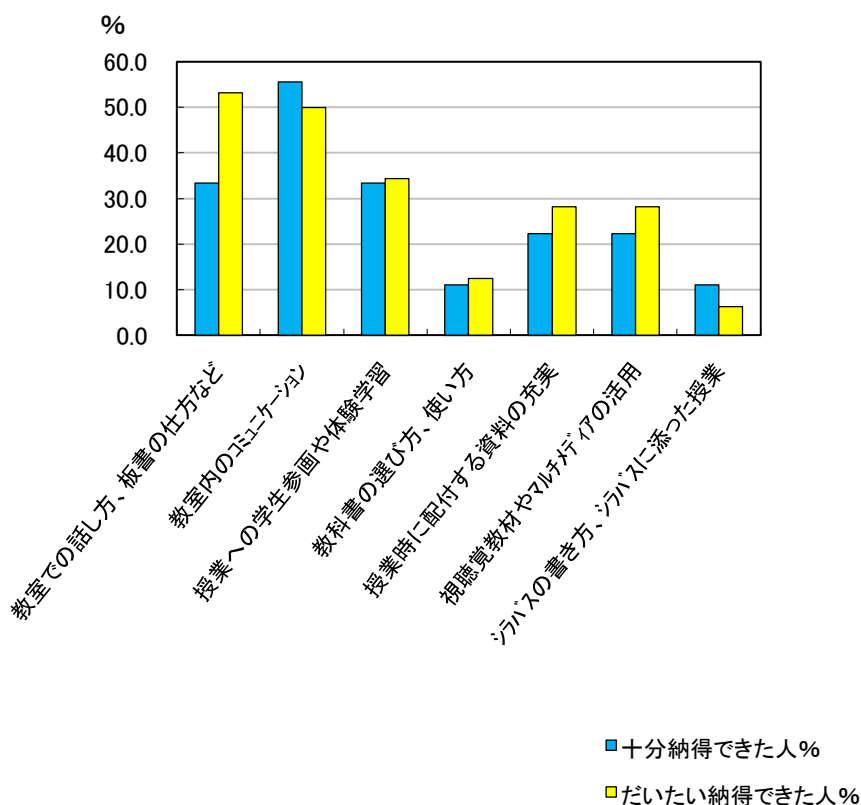


学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	14	25	0	39
受講態度をよくしてほしい	5	16	0	21
授業時以外でも勉強してほしい	7	16	0	23
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	7	11	0	18
その他	2	3	0	5
無回答	3	2	1	6

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

I 設問3. 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成21年度 後期



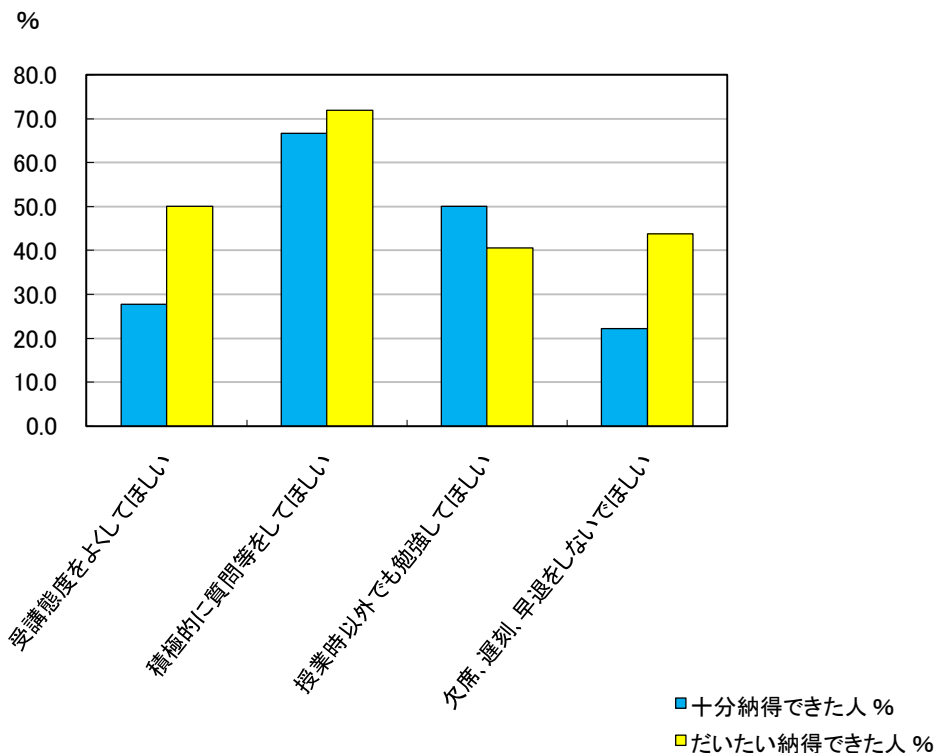
授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (18人)		だいたい納得できた人 (31人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
教室での話し方、板書の仕方など	6	33.3	17	53.1	23
教室内のコミュニケーション	10	55.6	16	50.0	26
授業への学生参画や体験学習	6	33.3	11	34.4	17
教科書の選び方、使い方	2	11.1	4	12.5	6
授業時に配付する資料の充実	4	22.2	9	28.1	13
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	22.2	9	28.1	13
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	11.1	2	6.3	4
その他	3	16.7	5	15.6	8
無回答	1	5.6	1	3.1	2

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 2.1件 ↓ 2.4件 ↓

注：「十分納得できた人」18人に対する割合 「だいたい納得できた人」31人に対する割合

Ⅱ 設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成21年度 後期



学生に対する要望	十分納得できた人 (18人)		だいたい納得できた人 (31人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
受講態度をよくしてほしい	5	27.8	16	50.0	21
積極的に質問等をしてほしい	12	66.7	23	71.9	35
授業時以外でも勉強してほしい	9	50.0	13	40.6	22
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	4	22.2	14	43.8	18
その他	1	5.6	3	9.4	4
無回答	0	0.0	2	6.3	2

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 1.7件 ↓

2.3件 ↓

注：「十分納得できた人」18人に対する割合 「だいたい納得できた人」31人に対する割合

II. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。
また、類似の記述については、まとめさせていただきましたことをご承知ください。

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 27/54)

1. 十分納得できる (有効回答数 9/18)

- ・実習を取り入れたため、学生の関心を持続させやすかったと思う。
- ・これまでの「学生による授業評価」における平均値（ただし、学生自身についてを除く）が、自分の科目全体としての平均値より劣る項目について、授業内容の見直しを行うと必ず評価の改善が認められる。「学生による授業評価」の信頼性は高いと思う。
- ・全体的に、自分が思っていたことにほぼ近い評価だったので納得しています。やっぱりなあという感じです。
- ・授業の資料作成には時間を割きました。
- ・前年度の結果をもとに、分かりやすい授業のために工夫と努力をした結果だと受け止めている。
- ・ほぼ平均に近いが、II - 5「話し方の明瞭さ」で少し低く出ている。昨年も同様の評価で反省はしているのだが、なかなか改まらない。
- ・「自分で考えて疑問を投げかけてもらう」という授業のポイントは毎回提出の講義レポートによって達成できた。そのことで相互に共通認識ができたことが評価につながったと思います。また、外部講師の専門と実態が体感できる話は刺激があったと思います。
- ・予定通りに進んだ授業なので、また人数も少なかったので、きめ細かく指導できたと思います。学生の反応も良かったです。
- ・栄養士の基礎あるいは、専門職に向けての基礎として、出来るだけ、内容の濃いハイレベルの知識、技術を養ってもらいたいと願っていますが、概ね受けとめていると思う。

2. だいたい納得できる (有効回答数 15/31)

- ・良かったと思える点は、学生が意欲的に授業に取り組んでくれたことを確認できたこと。意外だった点は、授業中に私語をしていたと自覚している学生が多かったこと。「今年度の授業ではそれほど私語が多くなかったと思っていたのに」という気持ちと「わかっているなら私語をしないほしい」という気持ちが両方ある。
 - ・初めての担当で、納得有無以前に全体的に学生の雰囲気把握することができた。新年度はもう少し学生に親しみのある授業にしていきたい。
 - ・概ね予想された評価結果であった。
 - ・評価が学生によって分かれているので、意欲的に授業に取り組んだ学生の評価は高い傾向がある。
- 積極的に質問するように求めたが、ほとんど質問が出なかった。それでも質問に対する教員

の対応の評価欄に記入されているのが不思議。

- ・ 教科内容が難しい、量が多いというのは納得できます。
- ・ アンケートにはとくに反映されていないかもしれないが、最近の学生たちの反応を見て、大学教育における第二外国語の意義や役割について改めて考えなおす時期に来ているような気がする。
- ・ 学生の受講態度にひらきがみられていた。
- ・ 質問に関する項目があったが、講義内容についての質疑は皆無であり、教員からの確認に対する学生の返答は甚だあいまいなものが大半であった。このような現状は反映されていないのではないかと考える。
- ・ 大変な高評価で恐縮していますが、最大の理由は人数が少なく、まして欠席も多かったからでしょう。そのため、アットホームな雰囲気、時に脱線しながら楽しく授業を進めることを心がけ、レジャー施設・盛り場の見学、会食なども採り入れたからと考えます。
- ・ 全体の傾向は納得できるが、この程度の授業内容を「やゝ難しい」と思うのは納得できない。「やゝ易しい」が妥当だ。
- ・ 平素、授業出席中の態度が悪い学生（私語・携帯使用など）の評価も入ってくる点に疑問を感じる以外は概ね納得できる。
- ・ 授業に熱心な1年生と、余り授業に関心のない2年生とが混ざり、1年生には、不満があったようだ。授業に対しては、私自身は熱心に取り組んだが、学生には思ったほど評価されていなかったようだ。
- ・ 学生との対話を混ぜて実習出来た事。
- ・ 予期していた以上の評価を得ることができたと思います。
- ・ クラスによって評価が異なる。決まった方法で教えるクラスよりも自分の教え方ができるクラスの方がよい評価だった。

3. あまり納得できない（有効回答数 3/3）

- ・ 過去の授業では毎年ほとんどの項目で平均以上の評価を得ていたため、今年度も同様の内容と方法で行ってみたが、評価が大幅に下がったことにショックを受けている。特に講義内容に関してはシラバスの記載内容に沿って行っており、講義中にも何度かシラバスと確認して進めていたにもかかわらず、授業計画に沿っていなかったとの回答が多かったことは残念である。以前に比べ受講学生数が倍増したことをもう少し真剣に受け止め、授業の進め方を再考する必要があると反省している。
- ・ 専門科目なので基礎学力、自己努力をしないとついていけない科目であり、現状の多くの受け身の学生では難しいのは当たり前である。高い授業料をいただいているので内容のそれにふさわしいものになっている。
- ・ 私が独自に書かせた感想では、悪い評価をした学生は1人もいなかったのに、このアンケートでは1人、すべての項目を悪い評価としている学生がいました。

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について先生の側から見たご意見をお書きください。

a. レベルについて (有効回答数 44/54)

- ・ゆっくりすすめたことが、理解につながったかもしれない。
- ・今までのアンケートに比べればアンケート評価は低くはなっているが、受講者数が倍増している点と否定的な回答がゼロである点を考慮すると、特に問題はないと考えている。授業毎に行っている授業内容に関するアンケートで質問事項を記入してもらい次回の授業で解説する方法を以前から継続しているが、質問内容から判断しても、授業レベルに関して大きな不満はないと理解している。
- ・学生は概ね授業は理解できたと認識しているようだ。しかし、試験の結果と多少ひらきがある。
大人数の講義形式では難しいが、学期中にも理解度をチェックする機会を設けなければならない。
- ・少し難しく感じていたようである。中では出版界のホット・ 이슈に関心を持っていたり内容に満足している様子も見られるが、産業的な内容では難しいと感じたのではないかと思われるので、もっと工夫をしていきたい。
- ・科目による相違はありますが、だいたい適切なレベルとの評価だと思います。
- ・概ね妥当と思われる評価結果であった。できるだけ平易なレベルになるよう心がけているが毎年、少しずつ理解力や学習意欲が低下しているように感じる(講義内容の理解力確認小テストなどを通じて)。
- ・文学系の講義講読科目でやや難しいという答えが散見された。全体的に分かりやすく、面白く読み進めたのであるが、まだレベルが高いという学生がいることは、相当数の学生の学力レベルが低いということであろう。しかし、これ以上、レベルは下げられない。
- ・総じて、講義系科目よりも演習系または学生とのコミュニケーションのとりやすい少人数科目の方が「適切なレベル」と回答している。よって、単に科目の難易度だけでなく、授業の進め方次第で授業を改善できると感じた。
- ・専門教育科目なので基礎学力、自己努力をしないとついていけない科目であり、現状の多くの受け身の学生では難しいのは当たり前である。高い授業料をいただいているので内容のそれにふさわしいものになっている。
- ・評価項目の中でもっとも厳しい平均値であった。対応はレベルを下げるのではなく、学生にとってわかりやすい授業内容となるよう工夫をして行きたい。
- ・もう少しわかりやすく噛み砕いて説明する必要があったと思います。短大生への授業は始めてだったので、レベルを把握できていませんでした。
- ・本来専門領域の授業を一般学生に教える場合、受け手側にバラつきが出てしまうのはやむを得ないと思います。興味のある人は本当に一生懸命やってくれますし、興味の薄い人は「単位を取るだけ」という感覚ですので、やや難しく感じたと思います。
- ・レベルは、他大学と比べて1年生向けでは標準的です。
- ・昨年と同じ授業なのだが、レベルがやや難しいとする学生が8名中1名いたが、それ以外は

適切と考えられていた。真面目に取り組んでいる学生のためにも、講義内容の質を確保するため授業のレベルを下げるつもりはない。

- ・レベルが適切でないという意見が多い。確かに教科の特性からいってかなり難しいと思われるので、無理の無い評価だと思っています。よりやさしく、取りかかりやすくと考え工夫しているのですが、既に習っているはずの基礎が全くできていないため両方で困っている状態です。さらなる工夫をしてみます。
- ・2年生についてはレベルへの評価がほぼ3分割されていたが、1年生ではどちらともいえないとする評価が増加する傾向にあった。
- ・今年度は2年生のある科目を、若干ハイレベルに設定してみたが、評価点数は他の科目と比較して、全体的に低めのものとなっていた。ここ10年間レベルをどんどん下げてきたが、どこまで下げればよいのか、とても迷うところである。
- ・1時限目のクラスで「レベル、量共に適切」と感じた学生の比率が、2時限目のクラスと比較して低かった。2クラス同様に講義したつもりであったが、朝早い1時限目は学生側にまだ受講の意識が高まっていないのか、講義内容に実際に差が生じていたのか。今年度はそれらの点に注意しながら講義したい。
- ・入門の授業であるため、すでに習得している学生にとっては、易しい内容だったと思う。
- ・妥当な評価である。目標を、想定「僅か上」に置いている（無理して教えない）。
- ・この評価が他の項目と比べて一番低い。例年通りである。新しい言語を学ぶ限り、これは仕方のないことだと思う。
- ・学生69人中、「やや難しい」2人、「易し過ぎた」2人で、65名がほぼ適切との評価です。許容範囲と解釈します。今年度からは習熟度別のクラス編成となりましたので、この両者の不満が少なくなることを期待しています。
- ・レベルについては、やや難し気味という感想であった。今年度にいかしたいと思う。
- ・授業レベルはある程度確保したいと考えている。
- ・できるだけ平易な言葉を心がけたが、やや理解が困難だった印象がある。さらに次年度は考慮していきたい。
- ・レベルと量はほどほどだったかと考えます。ただ、前述の理由から必ずしもシラバスに沿って授業を進めなかったため、かえって興味をひくことができた面もあると思います。
- ・具体的な講義内容については、より一層理解を深めることができるように留意したい。
- ・大学との共通教育科目で、初めて大学1年生が数名履修することになり、当初は「働く」「就職」に対してどう受け止めるのかを案じました。しかし、卒業後のことを見据えてそのために学生生活をどう過ごしていくかの問題を積極的に係わる姿勢があり、効果がありました。
- ・学生によって評価の差が大きいですが、なべて言えば、やや難しい、とのこと。
- ・レベルについては認識に差がある。「努力して理解する」気持ちが欲しい。
- ・レベルについては、いろいろな学生を受け容れざるを得ない関係上、どのあたりに設定するかが難しい。
- ・PCを使用する授業の場合、出来る学生と出来ない学生が明確に分かれるため、一律のカリキュラムではなく、進度によって、変更することが望ましい。

- ・レベルは「適切である」との結果であるが、授業への関心以前に、知識（専門だけでなく一般常識、漢字の読み書き、意味も含め）が高校生レベル以下であった（授業の初回に簡単なチェックテストを行った結果、内容のレベルダウンを検討した）。
- ・難易が半々であったので、ほぼ適切と思われる。但し、授業の内容が積み重ねを必要とするものであったので、欠席のあった学生には、難しい部分もあったかもしれない。
- ・専門的な知識があまり無い為、現時点での講義数では現状の内容が適当と考えます。
- ・レベルについては、中庸であると思う。
- ・一年生でしたのでこれからの可能性に期待します。
- ・平均値が3.7と4.1であるから、ほぼ適正ではなかったかと思います。
- ・一般社会人にも通ずるレベルで進めたが、学生にとって難しいのか簡単だったのか、わかりにくい。
- ・ほぼ不満がなかったので、学生のニーズにこたえることができ安心しました。
- ・学生の基礎学力に不足があるが、なるべく補充しつつ大学生としてのレベルに導いていけるよう努力したい。
- ・演習を伴う授業であるので柔軟な対応が出来た。ほとんどの学生が「適切である」と回答している。
- ・栄養士の基礎あるいは、専門職に向けての基礎として、出来るだけ、内容の濃いハイレベルの知識、技術を養ってもらいたいと願っていますが、概ね受けとめていていると思う。
- ・クラスによりさまざま。インテグレート・イングリッシュのクラスは難易度が高いようだ。

b. 量について （有効回答数 44/54）

- ・ゆっくりすすめたことが、理解につながったかもしれない
- ・（今までのアンケートに比べればアンケート評価は低くはなっているが、受講者数が倍増している点と否定的な回答がゼロである点を考慮すると、特に問題はないと考えている。授業毎に行っている授業内容に関するアンケートで質問事項を記入してもらい次回の授業で解説する方法を以前から継続しているが、質問内容から判断しても、授業レベルに関して大きな不満はないと理解している。）レベルと同様、否定的な回答がゼロなので、概ね問題ないと判断している。
- ・概ね高評価だが、少し授業内容が多すぎたかもしれない。教えたこと、伝えたいことは山ほどあるが、限られた授業回数の中で重要な点を絞り込んでいく工夫が更に必要だ。
- ・量的には適切と思っている。
- ・科目による相違はありますが、だいたい適切な量との評価だと思います。
- ・1回の講義の分量を少なくするようにしてきている。妥当な評価であった。
- ・演習科目で量が多いとの答えが見られた。しかし、科目の内容からして作業量が多くなるのは当たり前である。レベルと同じく、量にも耐えられない学生が多く入学するようになったのであろう。学力に見合った量を個々に出すことも考えなくてはと思っている。
- ・テキストの有無も多少の影響を与えているように感じた。テキストを用いる科目の方が量が

多いと感じられているようである。

- ・専門教育科目なので基礎学力、自己努力をしないとついていけない科目であり、現状の多くの受け身の学生では難しいのは当たり前である。高い授業料をいただいているので内容のそれにふさわしいものになっている。
- ・評価項目の中で「授業レベル」に次いで厳しい平均値であった。対応は、量を減らすのではなく、学生の科目への関心を高めることで負担感の軽減に努めたい。
- ・量も、一回の量としては多かったかもしれないと思っています。とにかく覚えてもらいたい、知ってもらいたいという思いが強くなってしまいました。
- ・前半は毎回のように提出があるので、休むと厳しくなると思います。レベルについても量についても、もう少し「難しい」「多い」という評価が出ると予想していましたが、ほとんど無かったので安心しました。
- ・授業内容によっては、量が多かったかもしれませんが。成績評価の結果、6割の受講生がすべての小テストに回答した為、適切な量と考える。
- ・やや多いとしたのが、8人中1名いたが、全体としては適切と思われる。
- ・量が多いという評価も領けます。学科特性から「これは飛ばしてもよい」という項目はないのです。教員側も工夫をするので学生にも頑張ってもらいたいと思います。
- ・これ以上減らせない量（内容）で授業を行っているが、1年生ではどちらともいえないとする評価が増加する傾向にあった。
- ・10年ぐらい前と比較すると、半期でとりあげる内容量は2/3ぐらい。それでも「量」についての評価は他の項目と比較すると低い。どうしたら良いのだろうか？
- ・1時限目のクラスで「レベル、量共に適切」と感じた学生の比率が、2時限目のクラスと比較して低かった。2クラス同様に講義したつもりであったが、朝早い1時限目は学生側にまだ受講の意識が高まっていないのか、講義内容に実際に差が生じていたのか。今年度はそれらの点に注意しながら講義したい)
- ・授業の量については、ちょうど良いバランスで進められたと思う。
- ・少し多すぎるかとは思っているが、[回答]はまあまあで、このペースで続けたい。
- ・レベルと同じ意見である。分量についてははずいぶん減らしたのだが、どれだけ減らせばいいのだろうか。
- ・学生69人中、「どちらとも言えない」が11人、58名がほぼ適切との評価です。「どちらとも言えない」の11名は、「量が多すぎる」と感じての評価と思われると思いますが、検定を目的とした科目でもあり、この量を減らすわけにはいきません。
- ・量としてはちょうどよかったと思う。
- ・ある程度の量については、レベルを保持するためには必要なものと考えている。
- ・おおよそ今年度ペースでよいかと思う。しかし現状はVHS 供覧時間に寝ている学生が目につく。
- ・レベルと量はほどほどだったかと考えます。必ずしもシラバスに沿って授業を進めなかったため、かえって興味をひくことができた面もあると思います。
- ・必要かつ最小限の量の講義内容、演習内容と自負しているのでこれ以上、演習や講義の内容

を省略したり割愛したりすることは致しかねる。

- ・学生同士がお互いにかかわっていく内容を取り入れることが、全体の量的な内容から難しいことがあり、やや講義中心となってしまいました。もう少しディスカッション形式を取り入れたいと思います。
- ・学生によって評価の差が大きいですが、なべて言えば、やや多い、とのこと。
- ・量については適切だという評価が多かった。
- ・ほぼ適量だったようである。
- ・量は少なかったと感じています。しかし、多くすると、ついて来れない学生が出てしまうので、注意が必要だと思いました。
- ・量についても評価からみると適切であったようだが、何度も同じ説明をくり返し、以前に比べ、講義内容は2/3以下に減らした結果かもしれない。
- ・内容そのものよりも、授業後にリアクションペーパーを書いたり、提出レポートが2回あったりと、書くことが多かったので、量が多いと感じたのではないかと思われる。
- ・量的には適切だと思っている。
- ・専門的な知識があまり無い為、現時点での講義数では現在の量が適当と考えます。
- ・こちらからは、もっと量を増やしたい。
- ・時間的にはこれで良いと思います。
- ・平均値が3.7と4.1であるから、ほぼ適正ではなかったと思います。
- ・もう少し課題を増やしてもよいと考える。
- ・量について、ほぼ不満がなかったので、学生のニーズにこたえることができ安心しました。
- ・栄養士の基礎あるいは、専門職に向けての基礎として、出来るだけ、内容の濃いハイレベルの知識、技術を養ってもらいたいと願っていますが、概ね受けとめていると思う。
- ・これまで概説ということで広く知識を紹介してきたが、今後は範囲を少し狭くする必要がありそうです。
- ・クラスによりさまざま。

設問3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。

(有効回答数 14/54)

- ・私語への注意を徹底したい。
- ・次年度は大学側からの要望もありコンピュータールームでの授業となるため、アンケート評価が改善するよう、授業内容もマルチメディア対応にふさわしいものにしたい。
- ・マガジン製作、授業の内容をやさしく、学生とのコミュニケーションをもっと充実させた授業を考えていきたい。
- ・保育園や幼稚園ではないのだからそんなに工夫する必要はない。学生の学力格差、学力低下は教育が成り立たないほど深刻である。
- ・授業時以外の場や機会をとらえて、学習の大切さを動機づけて行きたい。
- ・パワーポイントでの表示の仕方を工夫したいと思っています。ただ、字が多く書かれている

のではなく、キーワードを提示し、そこから学生に考えを発展させていけるような授業にしたいと考えています。

- ・配布資料の字が小さくて見づらいとの意見があったので、一部印刷の仕方を改善した。授業をわかりやすくするため、教材を増加させたり、学生の参画機会を増やすなどして、できるだけ多くの学生が授業に興味をもち、楽しく、授業ができるようにやり方を考えてみたい。
- ・1年次生対象科目でのレベル・量の調整。
- ・話し方の得点が低かった。もう少し声を大きくし、マイクの活用の徹底などをはかりたい。
- ・平易な言葉の使用。講義時間ごとの振り返り、理解度確認の工夫。
- ・まず、より多くの受講生を集め、欠席を少なくする工夫が、何よりも必要と考えます。少人数クラスの場合、評価アンケートは実際よりも高く現れる傾向があり、今回の評価もそのまま鵜呑みにはできないと考えております。
- ・2（シラバスの書き方を工夫し、シラバスに沿った授業を行う）については、他の先生も担当する同一科目の場合、シラバスの改定が困難なこともある。
- ・配布資料を配布するだけでなく、授業中にもできるだけ活用したい。
- ・学生の授業参加は従来から心がけてきましたが、そうすると授業が進まないのが、苦慮しています。
- ・うまくいったこと、いかなかったことから学ぶ。

設問4. この評価を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

(有効回答数 8/54)

- ・大変気持ちよく授業ができ、満足している。私語が多いという(学生)評価であったが、どちらかというとお互いにコミュニケーションができた、という感じなので、授業がやりにくいという事はなかった。
- ・ほとんどの学生は態度が良かったが、二人だけ毎回幾度注意しても私語をやめない学生がいて困った。
- ・基礎知識(常識的な事)が抜け落ちている様なので、いろいろな事に眼を向け、何でも経験するように心がけてほしいと思っている。
- ・授業中に質問時間を設けて問いかけているが、ほとんど質問が出ない。かといって理解しているのかと思うと解っていない。後席では授業がよく聞こえない。顔がよく見えない、私語をしやすいなどの欠点がある。今年は前半分に座るよう指示したので、コミュニケーション向上に効果があったと思われる。指示が無くとも、前に座り、積極的に授業に取り組み、質問を投げかける姿勢を示してほしい。
- ・授業後の小テストに質問記入欄を設けているが、質問は皆無に近い。選択科目、5時限開講が理由かもしれないが、毎年受講者が減少している。就職活動に多忙なのかもしれないが、学習意欲が低下しているように感じる。まずは受講してくれない事には教えようがない。
- ・授業以外の学習を求めているないので、授業時間だけでも集中してほしい。
- ・配付資料をよく読んでほしい。
- ・毎時間のように積極的に質問にきた学生は学長賞を授与された。やる気のある学生はよく勉

強している事が判る。反面、「出席だけ」の学生がいるのも確かで、「楽しんで卒業しよう」という甘い考えの学生が多い事を残念に思っている。

設問 5. 授業改善に関する事で、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について（有効回答数 21/54）

- ・実習室の出入り口が一カ所で、不慮の災害時の避難に非常に問題があり、窓側に非常口が必要と思います。換気が充分でないと思います。
- ・DVD-RAM が映写できるようにして下さい（PC にソフト導入でも可）。
- ・モニター画面は横長にのばされてしまっており、スクリーンは色が悪い。改善を望む。
- ・できればワイヤレスマイクまたはピンマイクが使用できれば嬉しいです。
- ・映像資料の場合、講義室内に設置しているものが VHS、DVD しか使えない。PC での DVD も活用できればと思う。また、OHP の画像機械が少し小さく感じる。
- ・36 名の受講生に対して 100 名以上入る教室は適切でなかったように思う。受講人数の 1.4 倍くらいまでの適切な教室であってほしい。参画型学習を行うには固定機の教室は使い勝手がよくないように感じた。
- ・ハード面は全く問題なく、素晴らしいものだと思います。
- ・ピンマイク（ワイヤレスのもの、PC 演習室に備え付けてあるようなタイプ）が視聴覚設備のある大教室には欲しいと思います。
- ・基本的には充実していると思う。欲を言えば、パワーポイント（パソコン）と OHP が一緒に使えないのが不便である。授業では絵や図を見せることも多いので、今年度から板書は基本的にパワーポイントを使用することにした。
- ・白板の設置してある教室のマーカー、かすれているものが多いので、常時新品を教室に置いて欲しい。
- ・視聴覚に関する設備、パソコンが使える環境、ディスカッションや班ごとによるワークができる環境が乏しいのではないのでしょうか。
- ・用具が不足しているので自前で用意しました。できれば次の用具の購入をお願いします。
①電動ドリル（小さな穴あけ用で、安全なもの）1 台、②万力（机に固定して材料を削る目的のもの。彫金用など小型のもの）12 台、③サンドペーパー（木工用で #50~240）各 30 枚（毎年）。
- ・ネットワークの回線速度を上げて欲しい。
- ・プロジェクターのある教室を利用しているが、受講人数の割には教室が広すぎる。もう少し狭い教室で一体感のある授業をしたい。自由に動けるようにワイヤレスマイクの設置を望む。
- ・依然として細字のマーカーが置かれている。学生には読みにくいので中字以上のものを常備してほしい。
- ・毎回パワーポイントを使用するが、データが重いときなどパソコンの動きが遅くなるのがたびたびあるので、対応できるパソコンも用意していただけるとうれしい。グループワークをするときなど、簡単に移動したり動かせる机や椅子、スペースがあると嬉しい（現在の講義室では机と椅子でいっぱいのため、机を向かい合わせたりすることが困難）。

- ・グループディスカッションができる、机が移動しやすく、円になって話し合いができるようなスペースがほしいです。ディスカッションの場面を設定するだけでも、かなりの時間がかかり、授業時間に影響がでます。
- ・リモコンの数を増やしてほしい。他リージョン対応の DVD プレイヤー導入を希望。

b. ソフト面等について (有効回答数 10/54)

- ・できれば資格関係の受験ができる環境を考えてもらいたい。
- ・教室でネットなどが使える環境だとありがたい。
- ・ソフトについては、短大のものと、自分のものとで異なることがあり、学生には若干分かったようです。
- ・学事日程で補講は各期最終週に設定していただくと助かります。
- ・市販品の資料を用いて実態調査のため自費（数千円程度）で資料を毎年購入しているが、補助制度はありませんか。
- ・同じ学生に同じ教員が同じ教室で別の授業を行うのは便利なようで、教科による学生の印象が違うことがあるのですが、混同してしまうことがあり、避けられるなら避けてほしいです。
- ・学生への授業参加義務(規定)は周知徹底されているのか、お伺いしたい。この件についての学校の方針、方向性などお知らせ願いたい。試験時間の縛りについて、建設的な方法を再考していただけるとありがたい。
- ・講師が使用するパソコンからも検索ができることを希望します。(ヤフーなどのソフトを使用して検索ができなかった。無線 LAN がつながっていないようです。)
- ・音楽、アメリカの都市、国立公園といった特定のトピックに焦点を当てた英語の授業を開設してはどうか。
- ・インテグレートッド・イングリッシュを学生が興味を持っていることを話せるような少人数クラス編成にしてほしい。

設問 6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。 (有効回答数 22/54)

- ・質問項目の再検討が必要。
- ・学生はまじめに答えているとは思いますが、記名アンケートにする事も考えて良いのではないのでしょうか。
- ・発言に責任を持たせるために、記名式アンケートにする。期末でなく、中間に実施すれば、低レベルの学生に対する対処方法の検討、授業方法の反省を行う事ができ、その成果を後半の授業に生かせる。
- ・全体をまとめていく上で、質問項目番号を答えさせるだけでなく、①自分が授業で目標にしていた事、②それに対してどう積極的に関わり、創意工夫をしてきたか、③自分の目標に対する成果、を記入してもらおうと改善点がより明確になってくると思います。「振り返り」は自分を見つめる上で大切であり、双方に有効なアンケートを望みます。
- ・自由記入欄への記入がほとんど無いのが残念で、今後アンケート実施時に呼びかけてみたい。

(アンケート項目)16, 17については、他の先生がどのような質問をしているのか、参考のため紹介してほしい。

- ・項目Ⅳ(授業別の特別設問)－16. 17(この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください)がよく判りません。指示していない場合も回答率が記入されています。
- ・授業アンケートを毎年実施しなければならない理由は何か？ 2-3年に1度でよいと思う。演習授業や履修者数が少ない授業では実施しない大学もある中、本学がそうした方針をとらない理由は何か？ 一定数の履修者がいる講義科目だけでよい。
- ・アンケート実施のタイミングによっても答が多少変わってくると思う。例えば、試験やレポート提出の前に行うか等、統一しても良いのではないか。難しい試験の後では「授業がわかりにくかったから」、易しい試験の後なら「授業が解りやすかったからだ」と思うであろう。また、レポートを仕上げた達成感から全体によい評価をしたくなる心理も働くのではなかろうか。
- ・毎年同内容で調査する事にも意義があるかもしれないが、同じ内容なら(短大だから)2年に一回でも良いのでは無いかと思えます。学生の評価は真摯に受け止めているつもりで、自分なりの工夫をしています。面白おかしく学生に迎合する授業でなく、真剣に取り組む学生に不満を感じさせない、最低限のレベルを保った、学科特性に合った授業を今後も心掛けていきたいと思えます。実際問題として、学生の評価を参考として評価が毎年向上している教員がどれだけ居るのでしょうか。莫大な費用・時間と労力をかけてどれだけ効果が挙がっているものなのでしょうか。効果についても報告してもらえると教員にとって良い意味での刺激になると思えます。また、そういう教員の模擬授業を行ってもらい、などのワークショップも教員の資質向上に役立つかもしれません。個人のキャラクターは一朝一夕に変えられないとは思いますが。
- ・本年度前期の授業評価では、実験実習科目に比べて講義科目の平均値が相当低くなっていました。後期には、特に意識して講義科目の充実に努めたところ、平均値が著しく改善して格差が解消しました。同一内容・方法で実施している事に感謝をしています。
- ・毎度の事ながら、シラバス通りに進めており、そのことは講義でも話しています。次回は何を採り上げるかをなるべく伝えるようにしています。それにもかかわらず「計画通りでない」と回答する学生は理解に苦しみます。教員を批判するのも良いが、自己の姿勢をよく考えてほしい。アンケートに回答する資格があるのでしょうか。シラバスをみていないし、アンケート時の気分次第で回答しているのには困りものです。これだけ学力低下があると、教員は嫌われようとも毅然とした態度で仕事をしなければならないと思えます。
- ・学生アンケートを実施する際の基本的態度として「学生の希望に合わせよう」という思いがあるようだが、「学生を正しく導く」という姿勢が必要ではないだろうか。「努力して学ぶ」ことが大学では大切なのであり、「楽をして学ぶ」ことは学生の成長にとって決してプラスにならない。
- ・使用しているPCでは、フロッピーが使用できません。同様の方も多いのではないのでしょうか。
- ・英語のライティング練習として、例を示して学生にコメントを書かせる。

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 実践女子大学	<input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 単位互換生	<input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評価項目		⑤	④	③	②	①
あなた自身の授業の取り組みについて	1 あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全くなかった	ごくまれにした	時々した	かなりした	毎回した
	2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない

教員の授業の進め方について	3 講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う		そう思わない	→
	4 授業内容がわかるように構成されていましたか	⑤	④	③	②	①
	5 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	⑤	④	③	②	①
	6 この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は適切でしたか	⑤	④	③	②	①
	7 質問に対する教員の対応は適切でしたか	⑤	④	③	②	①
	8 総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	⑤	④	③	②	①

授業の内容について	9 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う		そう思わない	→
	9で②か①にマークした人は次の質問に答えてください	難し過ぎた	やや難しい		やや易しい	易し過ぎた
	10 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか	⑤	④		②	①
	11 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う		そう思わない	→
	11で②か①にマークした人は次の質問に答えてください	多過ぎた	やや多い		やや少ない	少な過ぎた
	12 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか	⑤	④		②	①
	13 この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う		そう思わない	→
14 この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか	⑤	④	③	②	①	
15 総合的に考えて、この授業を受講してよかったですか	⑤	④	③	②	①	

授業別の特別設問	16 この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う		そう思わない	→
	17 この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	⑤	④	③	②	①

自由記入欄(授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可)

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2009 年度後期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. この評価は十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。(複数回答可)

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、4月8日（木）です。

《教員アンケートによるご意見》

2009年度 後期分

希 望 項 目	回 答 (教務担当)
①ピンマイク(ワイヤレスのもの)の使用について	教室により用意が出来る場合がありますので、研究室または非常勤講師室にお申し出ください。
②学生に授業への参加義務は周知されているか伺いたい。	4月のオリエンテーションで説明済です。また、履修要項に記載されています。
③授業への参加義務についての学校方針、方向性についても伺いたい。	授業への出席は学生として当たり前ですので、授業の2/3以上の出席をしない場合は、定期試験の受験資格や授業の受講資格がなくなります。これは本人の責任であり、履修要項に記載されています。基準については、いまのところ変更する予定はありません。
④試験時間の縛りについて建設的な方法を考察いただきたい。	定期試験は60分で実施することが昨年度までの教務委員会で決まっていますので、90分かけて試験を実施なされたい場合は、定期試験としてではなく授業中試験として実施されるとよろしいと思います。その場合は、時間の縛りはありませんが、追・再試験の対象になりません。
⑤講師が使用するパソコンからも、検索を可能にしていきたい。(ヤフー等も使用したい。)	IPアドレスを設定し、教室の壁にジャックを入れて繋げると作動します。なお、IPアドレスについては、短大情報センターにおたずねください。
⑥グループディスカッションが出来るように、机の移動をしないで円陣になって授業が行える教室があるとありがたい。(机を移動するのに時間がかかってしまう。)	机を移動しないで円陣になって授業ができる教室は、Ⅲ館A棟にある313教室だけです。定員30名ですが、空いていれば使用できます。
⑦教室でネットが使用できる環境だとありがたい。	基本的にLANで繋がっていますので、使用可能です。
⑧映像資料の場合VHSやDVDIは使えるが、PCでのDVD互換も出来るとありがたい。	互換性のあるものでしたら使用が可能です。動作確認いたしました。
⑨ホワイトボード用マーカーを常に新品に！	用務の方が気にかけてくださっています。また、月に1回教務担当もチェックしており、太字用のマーカーが必要とのことでしたので、各教室に準備いたしました。
⑩学事日程で、補講は学期の最終週にしていきたい。	昨年度までは教務委員会で決めており、各学科教務委員の了承を得た上で補講日程も決定しています。
⑪ネットワークの回転速度を上げていただきたい。	ネットワーク自体は無理です。PCは昨年入れ替えたので速度については以前より早くなりました。
⑫教室が広すぎる。	非常勤講師室または研究室にお申し出ください。小さな教室が空いていれば変更は可能です。
⑬DVD-RAMが映写出来るようにしてほしい。(PCにソフト導入でも可)	今のところ、導入は検討されていません。
⑭同じ学生に同じ教員が同じ教室で別の授業を行うのは、学生が混同してしまうので避けられるなら避けていただきたい。	「同じ教室の方が便利」とおっしゃる先生が多いので、同じ教室にしています。

©2010 年度実践女子短期大学自己評価委員会

- 委員長 : 西脇智子 (生活福祉学科)
副委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)
委員 : 高瀬真理子 (日本語コミュニケーション学科)
萩野 敏 (英語コミュニケーション学科)
久保勝知 (食物栄養学科)
庶務 : 海野政司、有賀昌子